

平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年12月5日

上場取引所 大

上場会社名 東和フードサービス株式会社

コード番号 3329 URL <http://www.towafood-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岸野 禎則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 堀口 忠史

四半期報告書提出予定日 平成23年12月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-5843-7666

平成23年12月22日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の業績(平成23年5月1日～平成23年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	4,908	0.9	256	34.2	244	38.5	117	664.3
23年4月期第2四半期	4,864	△6.1	190	19.8	176	24.3	15	△66.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第2四半期	57.63	—
23年4月期第2四半期	7.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第2四半期	7,091	3,639	51.3
23年4月期	7,502	3,538	47.2

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 3,639百万円 23年4月期 3,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年4月期	—	10.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	2.7	500	57.4	480	61.4	190	478.9	93.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P5「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期2Q	2,046,600 株	23年4月期	2,046,600 株
24年4月期2Q	8,490 株	23年4月期	8,490 株
24年4月期2Q	2,038,110 株	23年4月期2Q	2,038,174 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における外食業界は、消費者の節約志向に加えて、東日本大震災および福島第1原子力発電所の事故による電力不足の影響を受けた自粛ムードの広がりなどが懸念される中、一部の業態で持ち直しが見られるものの、依然厳しい経営環境で推移致しました。

このような状況下、当社は「客数回復、ファンづくり、粗利の経営」を最重要経営課題として、コンセプトの「あったら楽しい」、「手の届く贅沢」を具現化するため、以下の施策に取り組んでまいりました。

一店舗ごとにテーマを設定、内装、メニュー、食器、ユニフォームに至るまで一つのテーマでまとめあげた店創りに注力し、10月には有楽町イトシア2階のダッキーダック有楽町店を「不思議の国のアリス」をイメージした「アリスカフェ」へ業態変更し、豊富なスイーツメニューを始め、インテリアや食器、ユニフォームなど、童話の世界の一ページを具現化した店へと生まれ変わり、20～30歳代の女性のお客様を中心に、ご好評をいただいております。

また、江戸をテーマにしたお好み焼き「こてがえし」への業態変更は、7月に「ぱすたかん」渋谷店及び錦糸町店、9月に新百合ヶ丘エルミロード店で実施し、1号店の新宿店と併せて4店舗となりました。「ぱすたかん」では11月以降も、豊島（池袋）の昔ばなしをテーマにした、池袋ぱすたかん（旧店舗名ぱすたかん池袋アルパ店）、宿場町、内藤新宿をテーマにした新宿ぱすたかん（旧店舗名ぱすたかん新宿ミロード店）など、その地域の歴史をテーマにした店舗を改装オープンさせ、客数及び売上高を大きく伸ばしております。

その他、5月に、南欧をイメージした「カフェアランシア横浜店」（テーマはオレンジ色）を横浜そごう9階に、6月にはグラタン&ドリアの店「銀座ココット」（テーマは小鍋料理）をJR立川駅直結のグランデュオ立川7階に新規出店致しました。

商品、販売促進面では、四季を八季に分けた季節の変化にきめ細かく対応したフェアの実施や、スパゲッティ食堂ドナ、ダッキーダックでのスパゲッティの3サイズ（M、Lは同価格、Sは100円お引きいたします）の提供などを前事業年度より引き続き実施しております。また、ケーキスタジオでの作りたてケーキの提供、ダッキーダック店頭にてパティスリー制作の「お菓子の家」を飾るなど、お客様への訴求力を高めております。

以上の結果、第2四半期累計期間の売上高は49億8百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は2億56百万円（同34.2%増）、経常利益は2億44百万円（同38.5%増）、四半期純利益は1億17百万円（同664.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて2億6百万円増加し、23億40百万円となりました。これは、現金及び預金が2億15百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて6億17百万円減少し、47億51百万円となりました。これは、土地及び建物の売却があったことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて4億11百万円減少し、70億91百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて2億56百万円減少し、14億9百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が2億57百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて2億56百万円減少し、20億41百万円となりました。これは、長期借入金が1億87百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて5億13百万円減少し、34億51百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて1億1百万円増加し、36億39百万円となりました。これは、利益剰余金が1億2百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、17億90百万円で前事業年度末に比較して2億15百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況と主な内容は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、4億74百万円（前年同期は3億36百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が2億30百万円、減価償却費が2億19百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、2億95百万円（前年同期は91百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入が4億87百万円あった一方、有形固定資産の取得による支出が1億51百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億54百万円（前年同期は2億17百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が7億44百万円あった一方、長期借入れによる収入が3億円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

期初に発表（平成23年6月13日「平成23年4月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）いたしました通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、修正しております。

詳細は、平成23年11月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,575,168	1,790,476
売掛金	307,136	264,583
商品及び製品	23,709	19,103
原材料及び貯蔵品	68,946	68,059
前払費用	105,605	104,677
繰延税金資産	30,231	29,562
その他	23,610	64,032
貸倒引当金	△493	△488
流動資産合計	2,133,914	2,340,006
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,237,029	990,428
工具、器具及び備品（純額）	143,733	121,532
土地	1,257,487	939,000
リース資産（純額）	327,593	342,429
その他（純額）	1,066	11,898
有形固定資産合計	2,966,910	2,405,289
無形固定資産	23,599	21,861
投資その他の資産		
長期前払費用	22,533	20,538
繰延税金資産	183,009	183,992
差入保証金	580,069	566,023
敷金	1,573,628	1,534,710
その他	18,918	18,699
貸倒引当金	△4	△5
投資その他の資産合計	2,378,155	2,323,959
固定資産合計	5,368,665	4,751,110
資産合計	7,502,580	7,091,117

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	227,945	225,184
1年内返済予定の長期借入金	574,300	317,160
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
リース債務	96,149	110,287
未払金	359,420	295,157
未払賞与	90,387	108,927
未払費用	72,869	62,657
未払法人税等	72,974	124,912
未払消費税等	26,173	47,237
預り金	29,096	17,869
店舗閉鎖損失引当金	13,695	—
資産除去債務	15,793	14,150
リース資産減損勘定	5,445	3,905
その他	2,045	2,045
流動負債合計	1,666,299	1,409,495
固定負債		
社債	240,000	200,000
長期借入金	1,351,916	1,164,906
リース債務	274,164	274,404
退職給付引当金	270,089	280,281
資産除去債務	98,318	100,066
長期リース資産減損勘定	2,913	1,144
その他	60,751	20,984
固定負債合計	2,298,153	2,041,787
負債合計	3,964,452	3,451,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	2,202,250	2,304,415
自己株式	△18,881	△18,881
株主資本合計	3,539,719	3,641,884
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,591	△2,049
評価・換算差額等合計	△1,591	△2,049
純資産合計	3,538,127	3,639,834
負債純資産合計	7,502,580	7,091,117

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)
売上高	4,864,755	4,908,333
売上原価	1,272,500	1,333,965
売上総利益	3,592,255	3,574,367
販売費及び一般管理費	3,401,418	3,318,334
営業利益	190,836	256,032
営業外収益		
受取利息	492	293
受取配当金	286	293
受取家賃	11,910	11,810
その他	4,412	9,456
営業外収益合計	17,102	21,853
営業外費用		
支払利息	28,262	27,221
不動産賃貸原価	1,731	1,526
その他	1,732	4,996
営業外費用合計	31,727	33,745
経常利益	176,211	244,140
特別利益		
固定資産売却益	—	994
立退補償金	6,743	—
特別利益合計	6,743	994
特別損失		
固定資産除却損	20,675	5,407
店舗閉鎖損失	—	3,706
減損損失	24,652	6,007
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	71,800	—
特別損失合計	117,128	15,120
税引前四半期純利益	65,826	230,014
法人税等	50,458	112,564
四半期純利益	15,367	117,450

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	65,826	230,014
減価償却費	218,950	219,944
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	71,800	—
減損損失	24,652	6,007
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	515	10,192
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	52	△3
受取利息及び受取配当金	△779	△586
支払利息	28,262	27,221
立退補償金	△6,743	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△994
固定資産除却損	20,675	5,407
店舗閉鎖損失	—	3,706
売上債権の増減額 (△は増加)	△55,962	42,553
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7,518	5,491
前払費用の増減額 (△は増加)	6,356	△1,093
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	5,171	△2,022
長期前払費用の増減額 (△は増加)	231	△2,737
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,425	△2,760
未払金の増減額 (△は減少)	7,458	1,288
未払賞与の増減額 (△は減少)	8,790	18,539
未払費用の増減額 (△は減少)	3,492	△9,141
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△5,329	△1,072
未払消費税等の増減額 (△は減少)	27,604	24,314
預り金の増減額 (△は減少)	12,753	△11,227
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△591	1,144
小計	425,282	564,186
利息及び配当金の受取額	755	498
利息の支払額	△27,476	△26,270
災害損失の支払額	—	△4,589
法人税等の支払額	△62,176	△59,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	336,385	474,270

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△130,822	△151,669
有形固定資産の売却による収入	—	487,214
固定資産の除却による支出	△1,048	△1,555
投資有価証券の取得による支出	△656	△180
貸付けによる支出	△4,100	△1,650
貸付金の回収による収入	982	900
差入保証金の差入による支出	△2,000	—
差入保証金の回収による収入	14,046	30,629
敷金の差入による支出	△14,214	△19,232
敷金の回収による収入	40,190	248
資産除去債務の履行による支出	—	△2,215
店舗閉鎖に伴う支出	△150	△7,025
店舗立退に伴う補償金収入	6,743	—
長期預り敷金の返還による支出	—	△39,767
その他	△228	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,255	295,696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△130,150	△744,150
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
リース債務の返済による支出	△31,738	△52,034
自己株式の取得による支出	△274	—
配当金の支払額	△15,260	△15,226
その他	—	△3,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,423	△554,659
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	27,706	215,307
現金及び現金同等物の期首残高	1,369,751	1,575,168
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,397,458	1,790,476

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。